

平成 26 年度 川口地域委員会  
第 1 分科会 検討結果報告

1 検討テーマ「地域の宝磨き上げ事業について」

地域の宝の掘り起こしと磨き上げ（活用）方策の検討

2 分科会の体制

○分科会長 星野 晃男 副分科会長 渡辺 清作

○分科会委員 小宮山 正久、古田島 俊雄、砂川 祐次郎、佐藤 由美子、  
真島 文子

計 7 名

3 分科会の開催状況等

分科会等	開催日	会場・場所	内 容	委員の出席数
第 1 回分科会	6 月 24 日	支 所	○正副分科会長の選任 ○今後の進め方について ○意見交換…地域の宝の掘り起こし	6 名
第 2 回分科会	7 月 29 日	支 所	○地域の宝絞り込み ○地域の宝の活用（磨き上げ）	6 名
第 3 回分科会	9 月 2 日	支 所	○地域の宝の活用（磨き上げ） 関係団体との意見交換（第 1 回） ～宝の 1 について	7 名
第 4 回分科会	9 月 26 日	支 所	○地域の宝の活用（磨き上げ） 関係団体との意見交換（第 2 回） ～宝の 2 及び 3 について	6 名
第 5 回分科会	10 月 29 日	支 所	○地域の宝の活用（磨き上げ） 関係団体との意見交換（第 3 回） ～宝の 1～3 について	7 名
第 2 回地域 委 員 会	11 月 14 日	支 所	○分科会の中間報告を実施	
第 6 回分科会	3 月 13 日	支 所	○分科会の最終報告等について	6 名

4 分科会の検討結果

別紙 地域の宝磨き上げ事業 宝の活用提案シートのとおり

☆地域の宝磨き上げ事業 宝の活用提案シート

地域の宝の定義

- ①地域の大半の人が自分たちの宝と認識している
- ②大切にしている組織(住民・NPO等)が存在している
- ③未来を担う子どもたちが参加できる
- ④全地域的な活動が期待できる
- ⑤地域が一つになれる

宝1 全国植樹祭会場を含む「ふるさとの森(仮称)」

- 関係する施設など
- 全国植樹祭お手植え会場
  - 川口ふるさとの森づくりエリア
  - 川口運動公園エリア など

- 関係する団体
- 川口ふるさとの森づくり実行委員会
  - NPOくらしサポート越後川口
  - 川小緑の少年団(5年生・6年生)
  - 全地区

■事業の目標  
地域が一つになってふるさとと呼べる森を育てる

■事業の柱

- 1 ふるさとの森を活用した自然環境学習の推進
- 2 10年後の育樹祭に向け、6月の第1日曜日を「森を愛する日」として、毎年森づくりの関連事業を実施する
- 3 ふるさとの森の象徴となるぶなの育成管理に努める
- 4 ふるさとの森関係団体の連携と情報発信を進める

宝の活用(磨き上げ)の提案

提案名	提案の内容	対象者	実施主体となる団体など	実施時期					備考	
				H27	H28	H29	H30	H31		
総合学習によるブナの植樹	☆緑の少年団の活動の一環として地域の方々と連携して、森を守る活動を進める。 ○川口地域のブナ林などから苗を採り育てる活動と育てた苗木の植樹(補植)など	川口小緑の少年団 5年または6年生児童	川小の緑の少年団が主体となり森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口と連携しながら取り組む	○	以降は要確認					総合学習の授業として活動を行いたい。
総合学習による森林の手入れ	☆緑の少年団の活動一環として地域の方々と連携して、森を守る活動を進める。 ○森づくり実行委員会の行うブナの育樹、育成管理などを一緒にやる	川口小緑の少年団 5年または6年生児童	川小の緑の少年団が主体となり森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口と連携しながら取り組む	○	以降は要確認					総合学習の授業として活動を行いたい。
御製碑除幕式と併せたイベントの開催	☆5月下旬の御製碑除幕式に合わせ、植樹祭開催日に近い、6月の第1日曜日を植樹祭が行われた記念日「森を愛する日」とすることを宣言すると共に、記念イベントなどを実施する ○「森を愛する日」の宣言 ○記念イベントの開催(案) ・松岡達英さん、中條均紀さんとのコラボ企画 ・森づくりの草刈活動 など	実行委員 川小緑の少年団 川口小学校PTA 市内児童生徒 東芝グループ 募集ボランティア 一般参加者など	森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口、川小緑の少年団の3つの団体の他、地域委員会や総代会なども連携して行う	○						
「森を愛する日」のイベントの開催	☆植樹祭記念日「森を愛する日」にあわせ、ふるさとの森を育て、PRするイベントを開催する ○育樹祭に向けた記念植樹 ○きずな館拠点の森づくり探検隊 ○松岡達英さん、中條均紀さんとのコラボ企画 ○森づくり講演会 ○森のコンサートなど	実行委員 川小緑の少年団 川口小学校PTA 市内児童生徒 東芝グループ 募集ボランティア 一般参加者など	森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口、川小緑の少年団の3つの団体の他、地域委員会や総代会なども連携して行う		○	○	○	○		
笑顔が集う森づくり	☆エリア内に住民が笑顔で集える場を整備する 花見を楽しめる環境づくりのため、桜など川口地域にあった木などの植樹を行う	実行委員 川小緑の少年団 川口小学校PTA 市内児童生徒 東芝グループ 募集ボランティア 一般参加者など	森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口、川小緑の少年団の3つの団体の他、地域委員会や総代会なども連携して行う							
ぶなの育樹、育成管理活動	☆苗木周り芝根切り、固形肥料施肥 ○5月の雪消え後、ぶな林としての生長を促進するため実施	専門造園業者	川口ふるさとの森づくり実行委員会	○	○	○	○	○		
	☆住民参加によるぶなの育樹、育成管理 ○6月の植樹祭記念日「森を愛する日」と10月に草取りなどの育樹、育成管理を行う ※27年度は、御製碑除幕式に併せて実施	実行委員 川小緑の少年団 川口小学校PTA 市内児童生徒 東芝グループ 募集ボランティア 一般参加者など	川口ふるさとの森づくり実行委員会など	○	○	○	○	○		
ふるさとの森PR事業	☆ふるさとの森の関係団体が連携したPR活動を実施する ○オリジナルのPRマップやチラシの作成など ○PRイベントの開催 かんじきウォークなど冬季間も含めたPRイベントを開催する	森づくり実行委員 NPOくらしサポート越後川口 川小緑の少年団 温泉・ホテル(公社)	森づくり実行委員会・NPOくらしサポート越後川口、川小緑の少年団の3つの団体が連携した取組		○	○	○	○		





☆地域の宝磨き上げ事業 宝の活用提案シート

地域の宝の定義

①地域の大半の人が自分たちの宝と認識している

②大切にしている組織(住民・NPO等)が存在している

③未来を担う子どもたちが参加できる

④全地域的な活動が期待できる

⑤地域が一つになれる

■ 関係する施設など

- 魚野川、信濃川
- 関連河川～相川川

宝2 魚野川・信濃川の河川空間

■ 関係する団体

- 游川の会
- いきいき田麦山
- 森・里・海をつなぐ川の会
- 西部会

■ 事業の目標

川を愛する気持ちを育て持つ魅力を発信する

■ 事業の柱

- 1 川とのふれあいの場づくりを通し川に対する愛着を深める
- 2 川と人とが共生してきた文化や歴史を学び、継承する
- 3 川や水辺での自然環境学習や体験学習を進め川の大切さや楽しさを子ども達に伝える
- 4 川の自然景観や歴史、文化などその魅力を発信する

宝の活用(磨き上げ)の提案

提案名	提案の内容	対象者	実施主体となる団体など	実施時期					備考
				H27	H28	H29	H30	H31	
川とのふれあいイベントの開催	☆地域内外を対象とした川とふれあうことのできるイベントを開催する ○リバーフェスタの開催(川魚のつかみどり、Eボート体験、自然観察会、川の防災関連の展示など) ※楽しむだけでなく、防災についての啓発も行う。	一般	游川の会、いきいき田麦山、森・里・海をつなぐ川の会など河川関係団体が連携して実施する	○	○	○	○	○	
川の文化・歴史の調査、保存・継承	☆川と人とが共生してきた文化や歴史を学び、継承する ○川の文化・歴史調査事業(やな場や昔の川に関する写真などの収集保存活動) ○川の文化と歴史の学習会 ○JR川口プラザでの写真の展示 など	地域住民など	市		○	○	○		
川や水辺での自然環境学習・自然体験学習の実施	☆川の自然や環境、景観などの大切さや楽しさを子ども達に伝える ○相川川での魚の放流活動 ○日本大学の安田先生による川の学習会 ○川下り体験、Eボート体験 ○松岡達英さんによる自然観察会 など	川口地内の子どもたちを中心に他の地域にも呼びかける	游川の会、いきいき田麦山、森・里・海をつなぐ川の会など河川関係団体が連携して実施する	○	○	○	○	○	
川の駅の整備	☆川についての文化や歴史、魅力、地域情報などを発信する拠点として「川の駅」の整備 ○常設展示や情報発信を行う拠点として川の駅を整備をする(既存施設で検討) ○川の駅内に、川口地域に住む淡水魚の展示(錦鯉も含み川にいる魚などを水槽で展示する)を行う	一般	市や河川の関係団体が協力して取り組む				○	○	
魚野川水辺プラザの活用	☆現在検討されている魚野川水辺プラザの再整備によって計画されている親水エリア、体験エリアなどの活用 ○リバーフェスタや自然環境学習や体験学習で活用する	一般	游川の会、いきいき田麦山、森・里・海をつなぐ川の会など河川関係団体が連携して実施する	整備後に活用を図る					

☆地域の宝磨き上げ事業 宝の活用提案シート

地域の宝の定義

①地域の大半の人が自分たちの宝と認識している

②大切にしている組織(住民・NPO等)が存在している

③未来を担う子どもたちが参加できる

④全地域的な活動が期待できる

⑤地域が一つになれる

■ 関係する施設など

宝3 天神ばやし

■ 関係する団体

○総代会  
○各地区

■事業の目標

川口地域の祝い歌として将来へ継承する

■事業の柱

- 1 天神ばやしの普及、保存と継承を図る
- 2 発表の場づくりを進める

宝の活用(磨き上げ)の提案

提案名	提案の内容	対象者	実施主体となる団体など	実施時期					備考
				H27	H28	H29	H30	H31	
天神ばやしの普及、保存と継承	☆各地の天神ばやしを普及、保存と継承、また、地域の機運を盛り上げる意味も含め、新たに天神ばやしを記録する。併せて、天神ばやしのパンフレットや配布できる歌詞カードを作成する。 ○保存版DVD、CDの作成と配布 ○天神ばやしのパンフレットの作成と配布 ○歌詞カードの作成と配布	全地区	総代会など			○	○	○	
	☆各地区の主要施設に、天神ばやしの歌詞を大きくしたパネルなどを設置する。また、必要により練習するための譜面台など備品を整備する。 ○天神ばやし歌詞パネルの作成 ○関係備品の整備	全地区	総代会など		○	○			
発表の場づくり	☆天神ばやしの発表の場づくりを進め、住民への普及と継承へのきっかけとする								
	○川口まつりの夕に全員で天神ばやしを歌う		川口まつり実行委員会	○	○	○	○	○	
	○芸能発表会での披露		市	○	○	○	○	○	
	○天神ばやしサミットの開催 各地区の情報交換や歌の発表など		地区総代会			○			